

図画工作科経営の構想	担当	森 谷 亨
------------	----	-------

専科授業の目標

意欲的に創作活動に取り組み、作品への思いや完成までのプロセスに最善を尽くす心や態度を育てる。

目指す子供の姿

意欲的に創作活動に取り組む子	よさや美しさ、楽しさを感じ取り、互いを認め合える子	よく考え工夫し、粘り強く取り組む子
----------------	---------------------------	-------------------



専科としての 方針と重点的な取組

◎学ぶ意欲を高める教材の工夫に努める。 ・児童の発達や特性をふまえて、多くの素材との触れ合いを経験させられる指導計画を立てる。 ・制作課題への関心や意欲が高まり、イメージを膨らませられるような導入を行う。 ・児童の安全と活動に取り組みやすい学習環境を整える。	◎作品作りのプロセスを大切にし、よさや美しさを身につけられるように努める。 ・発表の機会を設け、自分の作品を見つめ直し、友達の作品に触れる中で、プラスの評価ができる心と態度を育てる。 ・参考作品をいろいろな見方から示し、児童の意欲につなげていく。	◎表現力高め、最後までやりとげられる指導の工夫に努める。 ・教材を事前に作成する中で、準備する材料や効果的な進め方や指導法を研究する。 ・全体指導の中では、ルールや学習態度が身につくよう指導していく。 ・さまざまな技術に対して、安全にかつ段階的に理解できる工夫をする。
--	---	---

関係者・関係機関等との連携

■学級担任や養護教諭などとの連携・協力 ・児童や授業について、学級担任と連絡を取りながら進めていく。 ・学校行事には、図工科の特性を活かしながら関わっていく。 ・児童理解を大切にし、広く日常生活の中でも児童と向き合っていく。	■家庭との連携・協力 ・学年を通じて、持ち物や材料の準備など制作環境を整えられるようお願いする。 ・作品を鑑賞できる場を増やし、作り上げた作品に対し、そのよさや努力を評価していただけるよう呼びかける
---	---

